

サイエンスカフェ『星カフェみやぎ座』は、
宮城県仙台市に“星好き”を増やすことができるか？

星カフェ 
 みやぎ座

○ 比嘉義裕（ひが企画、仙台天文同好会）

『サイエンスカフェ (Science Café)』

1992年にフランス・パリで始まった『哲学カフェ』から
ヒントを得て、1998年に英国でスタートした

『哲学カフェ』：学者側が主導（一般市民により充実した情報提供を！）

『サイエンスカフェ』：一般市民が主導（科学を、誰もがわかりやすく身近に！）

日本における『サイエンスカフェ』は、2004年頃に京都でスタート

現在、全国各地で、大学など教育機関や公共施設、民間団体などが主体となり、
大小のカフェが開催されている。

『アストロカフェ』

サイエンスカフェのうち、天文関連に特化したもの

福岡市、大阪市、京都市、東京都三鷹市などで成功し、根付いている。
地域の多くの天文愛好者が、それらを支えている。

それならば！とスタートさせたのが、
宮城県仙台市を拠点とする『星カフェみやぎ座』

主催者の主観により、アストロ“パブ”のスタンス（アルコールありき！）

『星カフェみやぎ座』は「天文(学)は文化である」を最大の目標

キャッチフレーズとして、

- ★科学者や専門家と一般市民が、対等な立場でワイワイと意見交換する“交流の場”
- ★星や宇宙について、天文学者（ゲスト）と楽しく会話する場を、みなさまに提供する
- ★「宇宙人っているの？」 「空はどこから空なの？」
「星を見ていて世の中の役に立つの？」
こんな質問も遠慮なく、天文学者にガンガンぶつけてほしい！

『星カフェみやぎ座』は、参加者、ゲストともに、
宮城県社会福祉協議会の『ボランティア・福祉活動行事保険』
に加入することになっている。

★傷害保険と賠償責任保険が補償され、保険料は1名30円

★事前名簿提出時によって、対象者は往復途上も補償される

→ 参加者にメールで事前通知（安心安全を提供！）

『ボランティア保険』『行事保険』につきましては、
以下URL、またはQRコードから、参照ください！



天文普及活動時の保険について（文章）

http://www.ceres.dti.ne.jp/~mvland/astro/higaplanning_insurance-sentence.pdf

天文普及活動時の保険について（表）

http://www.ceres.dti.ne.jp/~mvland/astro/higaplanning_insurance-table.pdf

『星カフェみやぎ座』実績・予定

★第1回カフェ 2013年9月9日 19時

- 会場：東北大学片平キャンパス生協『さくらキッチン』
- テーマ：ベテルギウスは、まだあるのか？（星の最期を考える）
- ゲスト：山岡均氏(九州大)、大西浩次氏(長野工専)、土佐誠氏(仙台市天文台長)
- 内容：キックオフを狙い、日本天文学会 2013 年秋季年会@東北大学に合わせて開催。天文学会の前夜祭として、著名人が多く出席し、盛会となった。新天体発見の第一人者の板垣公一氏が一般参加として駆けつけてくださり、ちょうど話題となった「いるか座新星」の話聞くことができた。



★第2回カフェ 2013年11月22日19時

- 会場：たらこCafe（仙台市若林区新寺）
- テーマ：見逃すな！アイソン彗星がやってきた！
- ゲスト：土佐誠氏（仙台市天文台長）
- 内容：注目天体をテーマに取り上げたことから、ローカルTV局の取材を受けることとなった。番組は、翌朝のアイソン彗星観測会を含む特集となった。



★第3回カフェ 2014年2月10日19時

- 会場：たらこCafe（仙台市若林区新寺）
- テーマ：宮城県と周辺に伝わる星の和名
- ゲスト：北尾浩一氏（NPO法人 東亜天文学会・中之島科学研究所・天文民俗学）

ゲストの北尾氏から、
なんとサプライズ！
自身の著書『星と生きる
—天文民俗学の試み—』
を、カフェ参加者全員に
プレゼントされます～！



『星カフェみやぎ座』を主催してわかったこと

★これまでの人脈に改めて感謝（助言、協力など）！

★旅費交通費・謝金などが、現状では捻出できないので、ゲスト選びが大変
→助成金やスポンサーを獲得するしかない？
（無償でゲスト参加したいという方、ご連絡ください！）。

★準備に孤軍奮闘しなければならない

→参加者へのメール連絡、会場の打合せ、資料作成、領収書の個別作成、
名札用意、などなど……

★告知・広告・参加者集めがとて大変！！！！

→もっとも苦心しているのが、これ！

もちろん、天文ファンの参加は大歓迎だが、なんだかよくわからない
という人にこそ、参加してほしい！

まとめ

宮城・仙台に、星好きを増やしたいという熱意は、失いたくない。よりたくさんの人に告知をし、魅力的なプログラムを作り、マスコミへの登場告知を試み、公共天文施設への働きかけも必要となろう。リピーターの確保、参加者の口コミ、飛び込み参加を可能にすることも検討課題だ。

しかし、なにはともあれ、継続こそが最も重要である。

『星カフェみやぎ座』を、宮城県仙台市に“星好き”が増えたと実感できるまで、継続していきたい。



星カフェ 
 みやぎ座

← hoshicafemiyagiza@gmail.com
<http://ameblo.jp/hoshicafemiyagiza/>